

- 1 単元名 アジア州の地球的課題を解決しよう
～情報通信技術は中国の地域格差を是正するか～
- 2 単元のねらい 中国の急速な発展にともなって発生した問題点（沿岸部と内陸部の地域格差）の解決策を「情報通信技術の活用」という視点から考える。

3 授業の構想

激しい変化の時代の中で多くの課題や問題に直面するであろう生徒たちが、他者と協働しながら問題解決の道をさぐり続けることのできる姿を目指したい。

小学5年生の社会科では、「社会を変える情報」単元で情報通信技術が様々な産業分野でサービスの向上のために利用され、国民生活の向上に大きな影響を及ぼしていることを学習する。そこで、この学習で獲得した概念的知識を生かして、中国における「地域格差を是正するには」という課題に取り組むことで、社会的な見方・考え方を活用してさらに知識を深めることができると考えた。

また、「地域格差の是正」は中国に限って見られる課題ではない。このような地球的課題に取り組むことで獲得した概念は汎用性をもち、日本地理や公民的分野の学習に生かせるものになると考えた。

本単元を展開にするにあたり、次の点に重きを置いて授業を構想していく。

本単元で学習したことが、この後の学習、さらには他分野の学習に生かせるような汎用的概念の獲得を目指す課題の設定

アジア州は、人口が10億を超える中国とインドが含まれ、人口急増が地域の人々の生活や国の現状と結び付き、世界でも急速な経済発展を進めている地域である。このことから「巨大な人口と急速な経済発展」という視点が、アジア州の特色をつかむことができる地理的事象といえる。単元全体の学習課題の設定にあたっては、この地域に暮らす人々の生活の様子が把握でき、さらに我が国の国土の認識を深める観点からも効果的であるということに配慮した。

本単元で学習する中国は、巨大な人口と広大な国土をもつ国家である。地域によって経済発展の度合いに差があることが、生活・就業・教育の地域格差や人口流出につながり、社会問題化している。そこでまず、単元のはじめに中国内陸部のある村で小学校に通う子どもの生活の様子を紹介し、「格差大国」の現状を明らかにする。それによって生徒が「なぜ、このような格差が生まれるのか」「格差を何とかしなければいけない」という疑問や課題意識をもつことで、単元を通して「地域格差を是正するには」という課題に取り組んでいけると考えた。

「これまでに身に付けた知識に社会的な見方・考え方を働かせて問題解決する力」を育む

学習内容の構成

学習内容は、アジア州の地理的事象、既習内容、生徒の生活経験、想定される学習活動などを考え合わせて構成していく。

本時では、小学5年生の社会科で獲得した概念的知識を生かし、「情報通信技術の活用」という視点から「地域格差を是正するには」という課題の解決について考える。実際に、中国で情報通信技術を活用して内陸部の人々の生活を大きく変えているある事業を取り上げ、この地域で暮らす人々の立場に立って本学習課題に取り組む。さらに、学び合いを通して自分の考えを比較・分類・総合したり、選択・判断したりするような場を設定していく。このような学習内容を構成することで、「これまでに身に付けた知識に社会的な見方・考え方を働かせて問題を解決する力」をさらに深めることができると考えた。

4 展開計画（全7時間 本時5／7）

単元を貫く課題：アジア州各国の急速な経済発展にともなう地域格差の解決策を考えよう。

- アジア州の自然環境について、地図やグラフを活用して調べその特色を明らかにするとともに、アジアの気候や農業との関連を多角的に判断する。（1・2校時）
- 「巨大な人口と広大な国土」をもつ中国の自然環境、気候、民族などの多様性を、資料やグラフを読み取って理解する。（3校時）
- 中国の急速な経済発展の様子を様々な資料を読み取り工業化と関連付けて理解し、それによって起こった問題の原因や影響を多面的に考える。（4校時）
- 中国の地域格差の解決策を「情報通信技術の活用」という視点から考える。（5校時・本時）**
- 東南アジア・南アジア・西アジアの経済成長の様子を調べ、それにとともなう地域の課題（地域格差の是正）とその解決策についてまとめ、発表をする。（6・7校時）

5 本時の学習

(1) ねらい

中国の地域格差を是正するために、「情報通信技術の活用」という視点からより良い解決策を考えることができる。

(2) 展開

学習場面と子どもの取り組み	教師の支援と願い・評価
<p>1 前時の学習をふり返る。 ・中国の経済発展にともなう地域格差の現状と問題点※資料『内陸部の農村に暮らすリーちゃんの生活（教育、医療、就業、物流など）』</p> <p>2 本時の課題を把握する。 「リーちゃんの手紙」を読み、内陸部の農村の人々の暮らしを知る。</p>	<p>・地域格差の地理的要因（広大な国土、巨大な人口、多様な自然環境・民族）、政策的要因（沿岸部における経済開発区の設置）を確認する。</p>
<p>「どうしたらリーちゃんの生活が安心・安全でより豊かになるかを考えよう」</p>	
<p>3 「情報通信技術」を活用して農村の生活を大きく変えている中国の会社の事業について知る。</p> <p>4 情報通信技術を活用して地域格差(①環境②就業③教育④医療)を是正する方法を考え発表する。 * 個人⇒グループ</p> <p>5 各グループの意見をもとに、最も有効な解決策を理由とともに考える。</p> <p>6 本時のふり返る。 →「淘宝」の事業をもとに、中国で実際に進められている地域格差是正の取り組みを紹介する。今後、アジアの他の地域や日本国内においても地域格差の解決策を考えていくことを知る。</p>	<p>・視点（情報通信技術を活用する）を明確にし、課題解決に関わる知識（情報通信技術の果たす役割）の共通理解をはかる。※小5「社会を変える情報」の概念的知識活用</p> <p>・「何が問題で」「どのように解決をはかるか」を既習内容、各種資料、経験知を根拠にして論理的に説明させる。</p> <p>・新たな解決策を考えてもよいこととする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価の観点（思考・判断・表現）】 ・中国の地域的特色を踏まえて、情報通信技術の果たす役割をもとに解決策を考えている （評価方法：発表（ホワイトボード）ワークシート 振り返りカード）</p> </div>

